



冬

---

冷徹な雲が街を覆う

異様に暗い昼下がり

誰もいない僕らの公園

幾何学的なオブジェと化す遊具

団地の窓から息を潜めてこちらを窺う少年

ざっ

丸い石ころを蹴飛ばすと乾いた音で転がる

次の瞬間

鳩が一斉に飛び立つ

躍動する羽

生の営み

頬を切りつける風

僅かに揺れるブランコ

そうだ、君はもういない

冬が来る